

中核的担い手の育成の進捗状況

農業経営課

○令和2年度末の進捗状況

- ・ 販売額 1,000 万円以上を目指す経営発展計画作成 188 経営体
- ・ 販売額 1,000 万円以上の中核的経営体の育成数 22 経営体

○主な取組

- ・ 販売額 1,000 万円以上の経営体（約 600 経営体）を令和6年度までに 1,000 経営体を増やすため、認定農業者（集落営農法人除く）約 900 経営体、認定新規就農者約 140 経営体のうち、販売額 1,000 万円以上の経営を目指す意欲ある農業者約 300 経営体を対象としました。
- ・ そうした担い手を対象に経営状況のヒアリングや水田園芸などの取り組みによる経営拡大、スマート農業の活用、労働力補完の仕組みづくり、法人化等の提案を行い、経営発展を目指す具体的な計画（ロードマップ）づくりを支援しました。
- ・ また、令和2年度新設した産地支援課販路開拓室により、担い手の方々の販路確保等の相談対応をスタートしました。

■農産物販売金額 1,000 万円以上の経営体数

- ・ 販売額 1,000 万円以上の農業経営体は、平成 22 年からの 5 年間で 42 経営体減少したが、平成 27 年からの 5 年間で 56 経営体増加。
- ・ この 5 年間の増加率は 9.4% で全国より 8.0 ポイント高い。

	H22	H27	R2	R2-H27
全国	132,983 (8%)	125,547 (9%)	127,249 (12%)	+1,702 (+1.4%)
島根県	638 (3%)	596 (3%)	652 (4%)	+56 (+9.4%)

出典：農林水産省「農林業センサス」。
() は全経営体数に占める割合